



朝夕涼しく感じる日も増え、秋の気配を感じられるようになりました。それでもまだ、日中は汗ばむ陽気が続いています。夏から秋への季節の変わり目、お子さまだけでなく大人も体調には気を付けたいものです。

開室当初、ペンギんはうすの利用は、3歳未満のお子さまがほとんどでしたが、最近では3歳以上、小学生のお子さまの登録、ご利用も増えてきています。幅広い年齢のお子さまたちが、楽しくゆったりと過ごせる保育室をこれからもつくっていききたいと思います。

いろいろなものを作って遊びました



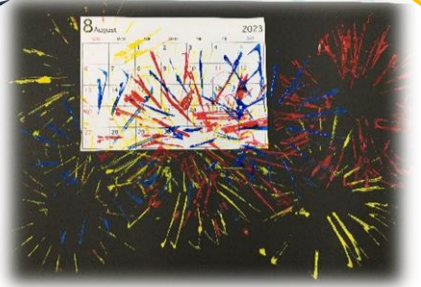
同じ材料で作った
9月にカレンダー
一つとして同じ物はありません。
どの作品も素敵ですね。



かき氷にフドウ、うちわ、トンボ、花火にお月見、季節を感じながら、様々な制作を楽しみました。小学生のお子さんは自分で考えた貯金箱など素敵な作品がたくさんできました。



各地で開催された花火
お子さまたちの作品にも大輪の花火が打ち上がりました。今年はお子さまたちも目にしたのでしょう。花火の話聞かせてくれました。



インフルエンザ Q&A

季節外れのインフルエンザが流行っています。その中で **10月よりインフルエンザワクチン接種が開始になります。** インフルエンザにすでにかかれた方は特にワクチン接種に関して疑問をお持ちの方もいらっしゃると思うので、クリニックの見解をお伝えしたいと思います。

★この春インフルエンザにかかったから今年はワクチン接種はしなくてもいい？
→インフルエンザにかかった方も10月から始まるワクチンを接種してください。


★それはなんで？
→日本ではWHOの推奨株と国内での流行状況などから予測を行い、ワクチンの製造に適した株をいくつか選択し、毎年5、6月ごろに次のシーズン（その年の冬～）のワクチン株が決定されます。
ですので、今年インフルエンザにかかったからと言っても他の株の可能性もあるので、接種をお勧めします。

★ワクチンを打つ意味あるんですか？
→ワクチンの目的は2つあります。
①感染予防やインフルエンザにかからないようにすることよりも、かかっても脳症や肺炎を起こして入院してしまったり、時には命をおとしてしまうかもしれない「重症化」予防すること。
②インフルエンザが流行した時にワクチン接種した人が多ければ多いほど感染をより広がりにくくなる「集団免疫を高める」ことです。

★1歳未満の赤ちゃんがいるんだけど、ワクチンはどうしたらいい？
→梶山小児科・アレルギー科は1歳未満の赤ちゃんへのワクチン接種はお勧めしてません。その代わりにパパママや赤ちゃんのご兄弟など赤ちゃんの周りの家族が接種をして、赤ちゃんを守りましょう。

★他に予防することはできる？
→インフルエンザだけでなく、外出後の手洗いやうがいはいはしっかりとしましょう。これは手指やのどの粘膜に付着した病原菌やウイルスを除去するのに有効と言われています。また日常生活の中では睡眠や栄養をしっかり摂って免疫力を落とさないようにすることも大事です。

★当院でのインフルエンザワクチン接種については、
[クリニック](#)、または[ホームページ](#)、[ライン](#)をご覧ください。



病児保育室では、体調に合わせて様々な遊びを楽しんでいます。そして、遊びの中で様々なことにチャレンジしたり学んだりしています。
「ポットン落とし」 ペットボトルのキャップで作った玉を穴の開いたケースの中に落として遊ぶ手作り玩具があります。それは少し力を入れないと入らないのですが、はじめは助けを求めるお子さまも、繰り返し遊ぶ中で穴に落とす事、力加減、入れる向きなど様々な事に気づきます。自分で上手にできた時の笑顔はとても素敵です。上手いかない時にも黙々と遊ぶ姿を私たちはそっと見守っています。教えればすぐに入れることができるかもしれない、でも、あきらめずに何度も繰り返し試してみるその時間は、お子さまたちにとっては大切な時間です。ペットボトルの玉には、鈴やビーズなど様々なものが入っているものといないものがあります。その音にもある時気づきます。その瞬間、表情が変わります。病児保育室でも、そんなお子さまたちの遊びの時間を大切にしていきたいと思っています。

学び続ける！



病児保育室 ペンギんはうす
〒657-0082 神戸市灘区榎原通3丁目 1-17
コージーネストマヤ2A
TEL/FAX : 078-882-8608
Kajiyama-kids.com/penguinhouse/